

概 況

平成23年4～6月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向けは減少、建築向けは増加し、12,492.2千³m、前年同期比▲1.2%の減少となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは4,584.4千³m、前年同期比▲10.4%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは540.6千³m、同13.5%と増加したものの、港湾・空港向けが312.9千³m、同▲34.4%、道路向けは1,294.6千³m、同▲12.9%、その他向けは2,436.3千³m、同▲9.0%と残りすべてが減少となった。

建築向けは7,907.8千³m、同5.1%と3期連続の増加となった。このうち官公需向けは1,183.1千³m、同▲10.0%と減少したものの、住宅向けは4,027.2千³m、同10.1%の増加、非住宅向けも2,697.5千³m、同5.8%の増加となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は530.6千³m、前年同期比3.2%と5期振りの増加となった。このうち土木向けは188.0千³m、同▲17.5%の減少となったが、建築向けは342.5千³m、同19.7%と3期連続増加した。内訳をみると、港湾・空港向け(同▲22.3%)、道路向け(同▲32.5%)、その他向け(同▲38.7%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同126.2%)、住宅向け(同40.8%)、非住宅向け(同16.9%)などが増加した。

東北は788.5千³m、同▲21.0%の減少となった。このうち土木向けは337.5千³m、同▲27.8%の減少、建築向けも450.9千³m、同▲15.0%と共に東日本大震災の影響が続き、減少となった。港湾・空港向け(同▲52.8%)、道路向け(同▲45.8%)、官公需向け(同▲38.1%)などが大幅に減少し、鉄道・電力向け(同▲4.5%)、その他向け(同▲11.2%)、住宅向け(同▲0.8%)、非住宅向け(同▲10.9%)なども軒並み減少した。

関東は4,981.5千³m、同1.4%と3期連続増加となった。このうち土木向けは1,432.3千³m、同▲4.4%の減少となったものの、建築向けが3,549.3千³m、同4.0%と増加した。港湾・空港向け(同▲50.2%)、官公需向け(同▲15.4%)などは減少したものの、住宅向け(同13.8%)、鉄道・電力向け(同6.0%)などが前期に引き続き増加した。

中部は1,509.8千³m、同3.8%と3期連続増加となった。このうち土木向けは670.3千³m、同▲6.0%の減少、建築向けは839.5千³m、同13.3%と3期連続増加した。港湾・空港向け(同▲35.9%)、道路向け(同▲8.9%)、などが減少したものの、鉄道・電力向け(同7.1%)、官公需向け(同22.4%)、住宅向け(同11.4%)、非住宅向け(同11.8%)などが増加した。

近畿は1,450.3千³m、同0.5%の増加となった。このうち土木向けは583.3千³m、同3.5%の増加、建築向けは867.0千³m、同▲1.5%の減少となった。港湾・空港向け(同▲17.7%)、官公需向け(同▲10.7%)、住宅向け(同▲5.8%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同75.5%)、道路向け(同8.9%)、非住宅向け(同8.7%)などが増加した。

中国は938.1千³m、同0.8%の増加となった。このうち土木向けは453.2千³m、同▲11.5%の減少、建築向けは485.0千³m、同15.8%と4期連続増加となった。港湾・空港向け(同▲29.3%)、道路向け(同▲16.8%)、官公需向け(同▲20.4%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同188.8%)、住宅向け(同17.0%)、非住宅向け(同39.8%)などが増加した。

四国は598.7千³m、同▲6.0%の減少となった。このうち土木向けは285.7千³m、同▲21.5%の減少、建築向けは313.0千³m、同14.6%と3期連続増加となった。鉄道・電力向け(同13.7%)、官公需向け(同29.1%)、非住宅向け(同17.2%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲38.4%)、道路向け(同▲27.9%)などが減少した。

九州は1,403.0千³m、同▲0.5%の減少となった。このうち土木向けは580.4千³m、同▲15.0%の減少、建築向けは822.6千³m、同13.2%と4期連続の増加となった。官公需向け(同16.6%)、非住宅向け(同18.5%)、住宅向け(同9.3%)などが増加したものの、鉄道・電力向け(同▲26.6%)、道路向け(同▲21.8%)、その他向け(同▲14.5%)などが減少した。

沖縄は291.6千³m、同▲14.3%の減少となった。このうち土木向けは53.7千³m、同▲39.6%、建築向けも237.9千³m、同▲5.3%とともに減少した。鉄道・電力向け(同33.5%)、非住宅向け(同18.1%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲39.0%)、道路向け(同▲32.2%)、その他向け(同▲52.8%)、官公需向け(同▲22.5%)などが大幅に減少した。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、4月が4,210.7千³m、前年同月比0.7%の増加、5月が3,684.7千³m、同▲6.5%の減少、6月が4,596.8千³m、同1.8%の増加となった。

このうち土木向けは、4月が1,555.5千³m、同▲9.6%の減少、5月が1,324.2千³m、同▲17.1%の減少、6月は1,704.6千³m、同▲5.3%と各月とも減少となった。

建築向けは、4月が2,655.1千³m、同7.9%、5月が2,360.5千³m、同0.7%、6月は2,892.2千³m、同6.4%と各月ともに増加となった。

4. 設備能力及び従業員数

6月末の全国のプラントの基数は1,869基で、前期末(23年3月末)より11基の減少、前年同期末(22年6月末)より81基減少した。月間生産能力は49,043千³m、前年同期比▲4.4%の減少となった。

6月末の従業者数は、22,216人、前年同期末より1,542人(▲6.5%)減少となった。